

鎌倉七福神散策報告(2024年01月28日(日))

正月なので「七福神巡り」をしようということになり、「鎌倉七福神」が選ばれた。当初は21日(日)に計画されていたが天候不順のために、今日に変更された。そして、青柳、伊藤、浮津、神田、三浦、三ヶ原、柳澤、陽田と総勢8名が参加して出かけることになった。

9時に北鎌倉駅に集合して、準備を済ませた後、9時10分に出発した。天候は初め期待していたほど晴れず、日差しがないために肌寒い日になってしまった。古都鎌倉は全般的に道路は狭く、緑色の印があるだけの歩道で、車が沢山走っていて危険なので、皆さん一列になって歩いた。

すぐに『浄智寺』に到着したが、ここは「鎌倉五山第四位」だ。境内には梅、枝垂れ梅、水仙、三桠などの花が咲いている。この寺の「布袋尊」は、境内奥の崖に穿たれた洞の中に鎮座していた。

ここから緩い上り坂の「県道21号」を鎌倉方向へ歩く、「鎌倉五山第一位」の「建長寺」はパスして、更に登ると坂の頂上付近に「閻魔大王像(国重文)」を祀る「円応寺」があった。坂を下って10時07分に『鶴岡八幡宮』に到着した。境内に入ると、元旦からもう一月近く経つせいか、参拝客はあまり多くはなかった。「神楽殿」では大勢の善男善女がお祓いを受けていた。そこから『旗揚げ弁財天社』へ向かう、源平池に浮かぶ小島に建つ「弁財天」のお堂にお参りをした。

「三の鳥居」を出てから『宝戒寺』へ向かった。ここには「毘沙門天」が祀られている。この寺は「菘寺」としても有名だ。「毘沙門天」は本堂の左手奥に鎮座していた。小休憩をしてから出発する。「小町大路」を海方向に向い、『妙隆寺』へ行く。通りから少し奥まった所にあり、「寿老人」が祀られていた。小さな独立したお堂があり、その他に境内には高さ80cmほどの石像の寿老人様もおわした。更に小町大路を進むと『本覚寺』がある。「恵比寿」様は立派な変形八角形のお堂の中に鎮座していた。境内を横切り鎌倉駅へ向かう。

11時15分に江ノ電・鎌倉駅に到着、長谷駅まで行く。次の『御霊神社』は長谷寺の裏手の方にある。11時40分に『御霊神社』に着いた。ここには「面掛け福祿寿」がおわす。ここから直ぐ裏手の七番目の『長谷寺』に向かう。このお寺には独立した立派なお堂に「大黒天」様が祀られている。また花が多く、今は梅、枝垂れ梅、ロウバイ、万作、ボケ、ドイツアヤメ、福寿草などが咲いていた。江ノ電に乗り鎌倉駅に戻った。

12時40分、鎌倉駅東口にある「サイゼリア」に着いた。“8名”と人数が多いので、まとまったテーブルが空くまで暫く待たされたが、10分程で着席できた。“飲む組”3人と“飲まない組”5人に分れて座ったが、飲む組は流石で、直ぐに1.5リットル瓶のワインが¥1,000円という“お得な品”を見付けて早速ご注文！色々な話題に花が咲いたが、特に青柳さんのチベット、中国、東南アジア、中近東など広く世界を歴訪して得た貴重な経験談は印象的であった。今日は一日中、狭い鎌倉の市街地を歩き回り、往来する自動車に気を使ったが、幸いトラブルなく歩くことができ、リーダーとしてはほっとしたところだ。14時30分、お開きにしてお店を出て、鎌倉駅、横須賀線車内などで流れ解散した。

以上 陽田



長谷寺にて



浄智寺:布袋尊



旗揚げ弁天社:弁財天



妙隆寺:寿老人



長谷寺:大黒天